

日本一の「苫小牧港」で 物流の重要性を高校生が学びました！

令和6年6月12日（水）、苫小牧海事事務所、北海道と共同主催で高校生を対象に苫小牧港湾地域の物流施設3カ所で見学会を開催しました。

この見学会の目的としては、現状では海事産業の担い手不足が課題となっており、港湾の仕事に少しでも興味や関心を持ってもらうことと、物流の役割や重要性についても理解を深めてもらうことが狙いとなっております。

物流業は、一般消費者からは見えにくい業種となっておりますが、食料品、日用品、機械製品、建設資材など様々な物資が、道路、海上、鉄道などを通じ、我々消費者に日々運ばれてきます。その重要性や社会的役割については、参加した生徒から「私たちの暮らしを支える物流の大切やありがたさを知った」という感想がありましたので、しっかり伝わったと思っております。

様々な業種がある中で、生活を支えている「物流業」を選択してくれる生徒が少しでもいれば大変うれしく思います。

参加者： 鷗川高校2年生 36名

▼ 見学会の様子 ▼



苫小牧埠頭株式会社

既存の道内物流を補完する新たな物流や商品の高付加価値化について学ぶとともに、陸上・海上輸送の連携などを学びました。



ナラサキスタックス株式会社 NARASAKI STAX CO., LTD.

船から運ばれてきた荷物等がそのまま家庭に届くのではなく、一度倉庫に保管されるというしくみを知ることで、物流の中でどのように日常生活に繋がるかを学びました。



苫小牧栗林運輸株式会社 Tomakomai Kuribayashi Transportation Co., Ltd.

たくさんの荷物がどのようにして全国各地に運ばれるか、体験を通して北海道と国内各地との結びつきを学びました。



参加者の声



物流について今まで考えたこともなかったし当たり前な事だと思っていたので、少しでも自分が知ることができたので良かったです。今後の進路活動に参考となりました。



物流は普段目には見えませんが、私たちの生活と結構直結していたことが改めて分かりました。沢山の企業や人が関わって物流が成り立っています。その一つが欠けたら全体に支障がでてしまう責任のある仕事だと感じました。



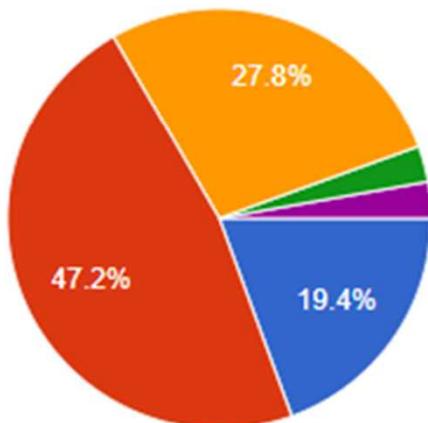
普段見ることができない施設を見学ができ、いい経験ができましたのでこれから活かしていきたいです。また、自然災害の対策や女性が現場で仕事しているのを見て、SDGsを積極的に取り組んでいることが分かりました。



今回物流について勉強して物流に対しての見方が変わった。こんなにも物流というものは大事で、この業界がないと自分たちが買ったモノなどが届かなくなる。物流に対してすごく興味を持てた

アンケート結果

【設問】 見学会を終了して物流業界に興味を持ちましたか？



- 物流業界が就職先の1つとして興味を持った。
- 物流業界が就職先にはならないが、物流について大変興味を持った。
- 興味は持ったが、そこまでではない。
- 全く興味を持たなかった。
- 物流業界の別な部分など、もっともっと知りたいと思った。